



今をときめく まちのあの人に会いに行く vol 25

町で過ごした充実の日々が 私自身を育んでくれた

海田幼稚園、海田小学校、海田西中学校を卒業し、高校は広島市内の学校へ。「幼稚園の先生になりたい」「小学校の先生になりたい」と、それぞれの段階で思っていたくらい、幼稚園や学校が大好きでした。海田町は地区ごとのイベントが多く、適度にコンパクトで人と人のつながりを感じられるのがいいなと思います。盆踊りや町民運動会、秋祭りなど、家族や友人と一緒に参加した行事がたくさんあります。「フェスタひまわり」で、「ゲストに芸能人が来るらしい」と家族で盛り上がって見に行ったのも懐かしい思い出



▲勝丸さんが手掛けた「お天気クイズ」の本

海田町にゆかりのある人を毎月ピックアップし、現在の活動や仕事内容から、海田町への思いまで深掘りしていきます。5月号では気象予報士・防災士として活躍する勝丸 恒子さんにお話を聞かせていただきました。

勝丸 恒子さん

気象予報士・防災士

もらえるように情報発信をしています。例えば、担当している気象コーナーで、お天気に関するクイズをしたり。季節の話題や歴史などを天気に絡めて自分自身で問題を考え、その数はのべ300問以上になりました。2022年春に、出版社の方からお声をかけていただいて、新たなクイズをまとめた『気象予報士に挑戦!お天気クイズ』という本を出版させていただきました。問題を解くだけではなく、可愛いイラストを見たり、解説を読んだりして、楽しみながら気象について学べる一冊です。広島では、近年大規模な土砂災害や豪雨災害が起こり、身の危険を感じた方も多いのではないかと思います。少しでも、お子さん達やその保護者の方達が天気や災害について興味を持って学んでもらえたらと、こちらの本を海田町内の小中学校6校に寄贈させていただきました。

いのちを守る力を自然の中で育んで

本を読んでくれた皆さんからは、「おもしろかった」という声や「イラストが可愛かった」という感想をいただき、とてもうれしく思っています。堅い話だけではなかなか伝わらないことが多いと思うので、これからも色々なアプローチで、気象や災害について発信していくらとと考えています。また先日は、海田西小学校の開校50周年記念式典に招いていただき、「夢を持つにはどうしたらいいか」というテーマでお話をさせていただきました。私自身は、その時



▲海田西小学校開校50周年記念式典のようす

その時での選択をしてきたに過ぎないのですが、バッタを追いかけたりダンゴムシを捕まえながら、自然の中で目いっぱい遊んだ幼い頃の時間が、自分で育んでくれた気がしています。そして海田町は、いつになっても変わらない私の大好きな故郷。かつての同級生がいつの間にかお母さんになり、私の親と親交があつたりするのも、温かな気持ちになります。私自身はこれまでと変わらず、目の前の小さな目標をひとつずつクリアしながら、大好きな今の仕事を1日でも長く続けていきたいです。そして、これからこの未来を創っていく子ども達には、たくさん外に出てたくさん自然と触れ合ってほしいです。きっとその中に、楽しい発見や思いがけない学びがあるはず。“いのちを守る力”を、自然の中で育んでほしいと願っています。

海田市駅の陸橋から見上げる空
海田市駅の陸橋から見る空は、少し高い位置から見ることもあり大きく広く見えます。特に美しいのが、西の方向に夕日が落ちる時間帯。まちがシルエットで浮かび上がって見えるようすや、茜色の空が幻想的です。どこか懐かしく幸せな気持ちになる、私の原風景です。

出演者 募集

広報かいたにご出演いただける人を募集中。自薦他薦は問いません。海田町で活躍していたり、新しいことに取り組んでいたり、まちのことが大好きな人をお待ちしています。興味がある人は上記の連絡先より問い合わせてください。

企画課(役場3階)

TEL 823-9212

Mail kikaku@town.kaita.lg.jp